

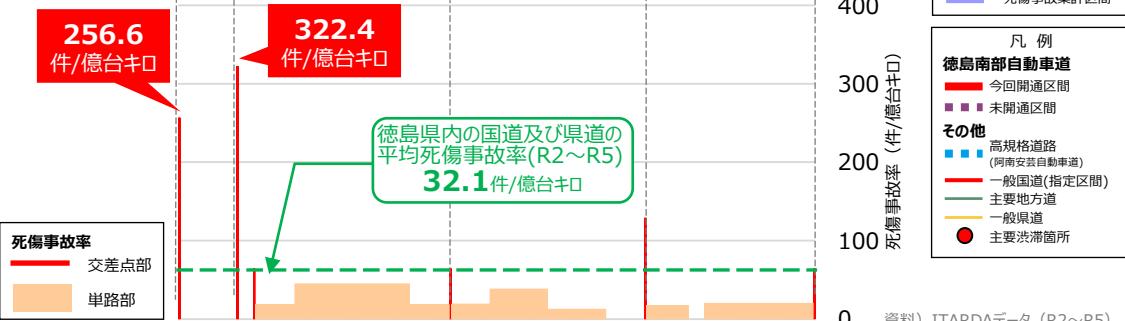
# 【整備効果②】交通転換による交通事故のリスク低減

- 今回開通区間周辺の県道(大林北交差点～上中町交差点、萱原交差点～上中町交差点)では、徳島県内平均を上回る死傷事故率が確認されており、追突や出会い頭による事故が多発しています。
- 今回の開通による交通転換により、周辺の県道における交通事故のリスク低減が期待されます。

## 〈平面図〉

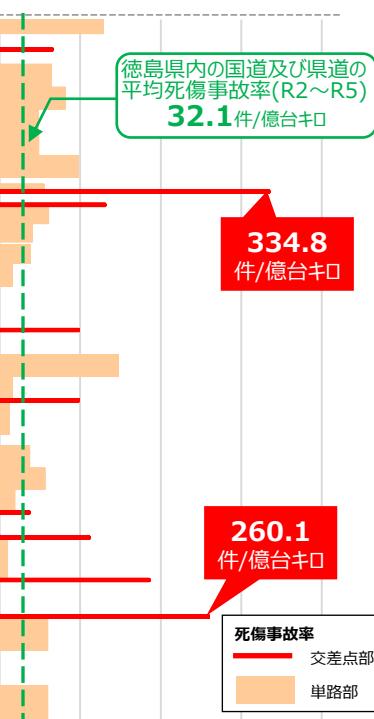


## 〈死傷事故率 (R2～R5)〉



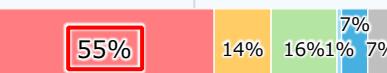
## 〈死傷事故率 (R2～R5)〉

死傷事故率 (件/億台キロ)  
徳島県内の国道及び県道の平均死傷事故率(R2～R5)  
32.1件/億台キロ

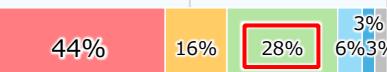


## 〈事故類型 (R2～R5)〉

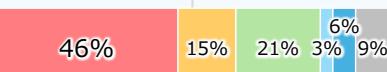
▼県道130号・24号  
〔91件/4年〕  
(大林北交差点～上中町交差点)



▼県道22号  
〔32件/4年〕  
(萱原交差点～上中町交差点)



▼徳島県内の国道及び県道  
〔5,408件/4年〕



## 【警察関係者の声】

- ・今回開通区間に周辺の県道(130号、24号)では、通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しており、信号交差点や店舗等が点在していることによる急な減速や右左折車との速度差などにより、追突事故が多発しています。
- ・また、県道22号では周辺に企業や工場が立地し、通勤時間帯の交通量がかなり多く、追突事故が多発する一方、脇道からの流入による出会い頭事故も多く発生しています。
- ・今回の開通により、これまで県道(130号、24号)に集中していた交通量が分散されることで、慢性的な渋滞が緩和され、事故の減少が期待されます。

